

# 1. 評価結果概要表

平成 21 年 4 月 14 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0177600202		
法人名	(有) 幸慈愛福祉事業振興会		
事業所名	グループホーム はまなす石狩		
所在地	石狩市花川北6条1丁目68番地 (電 話) 0133-76-2201		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成21年2月19日	評価確定日	平成21年4月14日

## 【情報提供票より】 (21年2月3日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14 年 1 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	23 人 常勤 16人, 非常勤 7人, 常勤換算 17.1人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 1 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円		
その他の経費(月額)	光熱費 17,000円	暖房費 10,000円	
敷 金	有 ( 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要 ( 2 月 1 日現在 )

利用者人数	18 名	男性 8 名	女性 10 名
要介護 1	1 名	要介護 2	5 名
要介護 3	8 名	要介護 4	2 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 83 歳	最低 54 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ピエタ会石狩病院、竹花歯科クリニック
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者は、当自治体におけるグループホームの必要性や重要性を認識して開設に至り、高齢者介護に精通した施設長と共に、認知症高齢者の生活を支え、また、家族の温かい応援団となって、熱意を持ち運営を展開している。職員は、利用者と共に過ごす時間を大切に、真からの愛情を持ってケアサービスに当たっている様子が窺える。有する力を活かしながらその人らしく暮らし続けるため、些細な事の把握を惜しまず内容を支援に結び付けている事が、利用者の生き生きとした姿や笑顔に結実しているものと推察される。地域密着型サービスの実現や職員育成に尽力している点、家族同伴の一泊旅行、重度化・ターミナルの支援に取り組んでいる事も特徴の一つである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で挙げられた、地域密着型サービスとしての理念については、開設当初から、実施している地域とのつき合いの根源となるものを、職員全体で考案し、理念の文言に加え、事業所独自の新たな理念として標榜され改善されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	代表者、施設長は、評価の意義やねらいを職員に周知しており、自己評価を毎年実施することで、運営やサービスの振り返りに活かしている。自己評価は、職員が個々にシート記入を行ない、会議で意見討議をして纏められ、課題改善に向けた取り組みが行なわれている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に一度の開催に努力し、定期開催が行なわれ参加者も多い状況である。会議では、運営やケアサービスの状況報告による意見交換の他、日頃の様々な気づき等をテーマに据え、メンバーからの幅広い意見や質問等による闊達な会議運営を推進しており、内容をサービス向上に活かす取り組みに繋いでいる。評価結果についても報告を行ない、会議メンバーからの意見も仰ぎながら、課題に対する検討や改善を進めている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族とは、訪問や電話等の機会、利用者の暮らしぶりや状況について詳細な報告に努めている。また、要望等を気軽に表出できるよう雰囲気作りを整え、家族とのコミュニケーションを重視している。出された意見等は貴重であるとの考えを示し、より良いサービス提供に向けその都度検討している。外部・内部に苦情申し立て機関を整備している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との関係は良好であり、様々な社会資源を効果的にケアサービスに結びつけ、利用者が地域で暮らすための関係力を築いている。職員参加の町内除雪ボランティア、清掃作業等の活動や、利用者の楽しみとなっている、市の福祉祭りや町内会祭り、文化祭などに積極的に参加をし、そこでの人々とのふれ合いや交流をする事に努めている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの導入以前より、地域住民との交流を大切にしながら、利用者の生活を支えるケアサービスの実践に努めている。「地域に支えて頂きながら」を盛り込み、住み慣れた地域での安心した暮らしを支える事業所理念を新たに標榜している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、利用者が笑顔で、穏やかに、安定されて過ごす事の重要性を認識しており「その人らしさ」を大切に、「尊厳ある暮らし」をケアサービスの基軸にすえ、常に、職員全員で、支援の振り返りを行ない理念の実践に向けての方針の統一を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との関係は良好であり、利用者が地域で暮らすために、様々な社会資源を効果的にケアサービスに結びつけている。職員参加の町内の除雪ボランティア、清掃作業等の活動や、利用者の楽しみとなっている福祉祭り、町内会祭り、文化祭などに積極的に参加をして、人々とのふれ合いや交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、施設長は、評価を毎年実施することで、運営やサービスの振り返り、見直しに繋がる等のねらいを、職員に周知している。自己評価は、職員が個々にシート記入を行ない、会議で意見交換の後、纏められている。今後の課題については、検討を重ねながら、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の開催に努力し、参加者も多く、其々の考えを活発な議論の下で示し、内容を運営に反映させている。運営やケアサービスの実際の報告の他、日頃の気づき等をテーマに据え、メンバーの意見を幅広く吸い上げながら、サービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市の担当者との積極的な情報交換や問題解決を市内同業者全体の中でも実施できるよう、石狩市グループホーム連絡協議会設立に尽力した経緯がある。事業所にあつては、市の各部署担当者への情報提供を含め、案件について意見を仰ぐなどの連携を図っている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問は多く、その都度、利用者の暮らしぶりや状況について詳細に報告をしている。受診や往診の内容は、特変や薬変更時等も速やかな連絡に努め、家族の知りたい点も鑑みながら、心身の状況について伝えている。金銭の報告は定期的で行っており、今後、はまなす便りを合わせて送付する方向で検討している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が、気軽に意見を伝えられる雰囲気作りを整えている。家族の訪問時には、積極的に声をかけ、要望や気になる点などを表出できるよう努め、家族参加型の行事等で、サービスの実際に触れてもらい、積極的意見を引き出す工夫を行なっている。内部・外部に苦情受付機関を整備している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、時々職員と業務に当たり、支援の実情を把握すると共に、人員配置面に重点を置き、職員の就労環境を整えている。職員の積極的な意見交換を大切にする点も、職員定着の一つと推察される。新入職員にあつては、全員でサポートし、交代時における利用者のダメージを抑えた移行を行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者、施設長は、職員の資格取得の奨励や働きながら学ぶ機会を積極的に提供するなどの職員育成に努めている。スタッフ研修会等の外部研修への参加や、日々の体験が学びに結びつくよう、内部で学習会を実施し、技術や知識の習得に力を注いでいる。また、職員がいつでも参照できるよう、専門書のミニ図書コーナーを設置している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者、施設長は、同業者との交流や連携の必要性を認識し、世話役となっている市内グループホーム連絡会をベースにした、協働的な取り組みが行なわれている。他の事業所見学や勉強会、イベントへの参加やスタッフ交流会が実現され、利用者を伴った普段着的な訪問交流も実施されている。		
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事業所見学の他、事前の面接では、本人の居る病院や施設、自宅を訪問し、家族を含め十分に話しを伺う事に努めている。入居初期は、環境変化へのダメージを抑えるため、面会や電話などの家族協力を得ており、本人の不安を受け止めつつ、職員が「貴方を温かくサポートします」のメッセージが伝わるよう利用者の視点に立った支援の工夫を行なっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者は、笑顔や会話がたえない大家族のような暮らしを共にしている様子が窺える。利用者の表わす言動を真から尊重する姿勢や、職員への労いの言葉や会話の多さから、信頼関係の深さが推察される。職員は、漬物作りなどの生活の技や知恵を教えてもらう場面を大切に、暮らしの中でお互いを分かち合える関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の生活歴を考慮しながら、その人らしさを、生活を共にする中で把握し、蓄積した内容を検討して、生活を支えるためのアセスメントに活かしている。職員は常に、一人ひとりの思いや意向に関心を払い、利用者の能力が最大限発揮できるよう話し合いを持っている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日の申し送りや毎月の利用者カンファレンスで情報を共有し、本人がより良く暮らす支援として何が必要かを全職員で検討している。センター方式を活用し、利用者其々の担当者が基本計画を立て、ケア会議にて意見交換を行ない、家族の意向や医療関係者のアドバイスを盛り込み、チームとなって作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は期間を明示し、3ヵ月毎の見直しの他、状態変化に即した計画の見直しを行なっている。バイタルチェックを含め、心身の状態観察を確実にこなす仕組みも取られ、利用者の変化の兆しを掴み、予防的に対応していくための見直しも行なわれている。その都度意見交換できる環境を整え、計画評価が日常的に実施できるよう取り組んでいる。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	知人等との通信支援や地域ダンスサークル活動への個別参加、他施設に入所中の家族への面会など、個別支援を充実させ、利用者、家族の状況や要望に応じて対応している。また、施設長が地域交流センターでの講師活動なども担い、地域に根ざした事業所機能の還元に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関との連携は緊密且つ良好であり、重度化やターミナルの受診では、毎日の往診協力も得ており、定期では、2週～1ヶ月に一度の往診体制を確保している。受診時以外でも、施設長が医療機関に出向き、主治医との情報交換を蜜にし、その都度、家族への伝達や合意形成に努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応に関わる指針書を整備し、急性期における医師や医療機関との連携体制等についても明文化している。本人・家族の意向に基づき、ターミナル支援を行っており、入居説明時の他、状況変化に応じた段階的な話し合いと合意を得て対応を行っている。職員は、経験も含め、看取りケアについて学びを深くしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者の誇りや尊厳が傷つかぬよう、一つひとつの支援や言葉かけに留意している。事業所は、職員と守秘義務に関する誓約書を交わし、本人・家族等とは、個人情報使用に関する同意を得て、法令遵守の取り扱いに努め、個別記録等の管理を含め、秘密保持の徹底が図られている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に掲げている「その人らしさ」を助けるために、職員は、安全面や健康面に配慮しながら利用者に合わせていく姿勢が窺える。希望や考えを知ることの大切さから導き出された、利用者の暮らし方を、様々な日常生活の中に最大限活かしつつ実践されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「美味しい物を楽しく頂くのが一番である」事に視点を置き職員も大きな円卓を囲み、一人ひとりが主役となる回想法的な会話も飛び交い、生活歴等の新発見にも繋がっている。食事一連の流れでは、其々得意とする場面で役割を担い、また、外食や行事食、庭先での昼食を取り入れ、食事に変化をつけて工夫をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、一人週4回まで支援できる体制を整え、最低でも週2回の入浴を実施している。医師の許可がある場合は、熟練した介護技術を有する職員の指導の下、ターミナルや重度のケースにあっても入浴支援に努めている。入浴中は、一対一での会話を楽しみながら、寛ぎ感やゆったり感に配慮している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の気持ちや有する力を活かす場面作りを行っており、利用者が喜びなどを感じながら、日常の家事仕事、または、ダンス、カラオケ等の趣味や様々な活動に望めるよう支援している。外国人訪問客の折、特技の語学を活かした接待などもアプローチのもと楽しまれている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に応じた買い物、散歩以外に、四季を味わいつつ、五感刺激の機会に配慮した外出支援に努めている。果実狩りや浜辺の散策、図書館や文化センターなどへ多目的に外出し、恒例、家族同伴の温泉一泊旅行は、利用者・家族の楽しみの一つとなっている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は、施錠による個々の利用者にもたらす心理的な不安や閉塞感について理解し、日中は鍵をかけず、夜間20時～早朝5時まで、防犯上の理由により施錠している。近隣住民にも理解を求めており、連絡等をしてもらえる関係である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導、協力を得て、昼夜を想定した訓練を実施しており、平成20年度3月に昼間想定で計画書を提出しており、今後は、地域住民に訓練等の協力を要請して、年度明け早期に、夜間想定訓練を実施する考えを示している。スポーツドリンクや水のペットボトルを非常用に確保している。	○	事業所は、様々な発生時間帯を想定して、利用者の安全確保と同時に避難誘導ができるよう、年間を通じた訓練の繰り返しが大切であるとの認識を示している。地域住民との連携も図りながら、災害に備えた実践的な訓練が実施されるよう期待したい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲水量は、食事以外に1500ccを目途に摂取できるよう支援し、不足傾向の場合や状態に応じて記録をしており、食事摂取量はその都度チェックを行ない、全体量の把握を行なっている。調理師資格者の職員が中心となり、医師の指示や利用者の好みを取り入れて、栄養バランスや食事形態にも配慮をした献立で提供している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングダイニングルームの居間は、ソファークーナーや食卓テーブルの配置を工夫して、利用者が好みの場所でリラックスして過ごせるようにしている。台所、浴室、玄関、トイレなどの衛生管理も徹底し、清潔保持に努めている。四季の装飾や、置き物、植物を飾り、生活感や季節感に配慮し、サンルームも、自由に活用することができ、趣味などで多目的に利用されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力も得て、利用者が落ち着いて生活できる居室作りを支援している。馴染みの家具や使い慣れた生活用品の持込みを願い、思い出の品や写真などを、思い思いに飾りつけられている。収納は、利用者が分かりやすいよう工夫され、利便良く整えられている。		

※  は、重点項目。